



## 2019年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 北川精機株式会社  
 コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小林 由和  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 0847-40-1200

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	789	84.9	84		84		43	
2018年6月期第1四半期	426	21.6	72		79		72	

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 55百万円 ( %) 2018年6月期第1四半期 55百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	5.68	
2018年6月期第1四半期	9.50	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第1四半期	6,874	1,932	22.8	205.37
2018年6月期	6,881	1,884	22.2	199.99

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 1,570百万円 2018年6月期 1,529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		0.00	0.00
2019年6月期					
2019年6月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	3.7	140	29.3	120	34.9	60	65.2	7.85
通期	5,100	2.5	330	31.4	320	33.1	200	25.9	26.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付書類】6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期1Q	7,649,600 株	2018年6月期	7,649,600 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年6月期1Q	1,838 株	2018年6月期	1,796 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年6月期1Q	7,647,795 株	2018年6月期1Q	7,647,804 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想修正は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、相次ぐ日本国内での災害の影響や、米中の保護主義的な貿易政策による世界経済の下振れリスク等により、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、新中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」を策定しました。基本的な方針は前計画を引き継ぎながらも、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に新たな市場の動きを捉えて事業化を目指すとともに、将来に向けて安定的・持続的な成長基盤を整備するため、3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品／サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高789百万円（前年同四半期比84.9%増）、営業利益84百万円（前年同四半期は72百万円の損失）、経常利益84百万円（前年同四半期は79百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円（前年同四半期は72百万円の損失）となり、第1四半期としては、4期振りの黒字となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (産業機械事業)

基板成形用プレス装置や、自動車部品製造・樹脂成形装置などの多様な受注を獲得しており、受注済の多くの売上予定が第3四半期連結会計期間以降に集中しているものの、売上高444百万円（前年同四半期比43.1%増）、営業利益41百万円（前年同四半期は62百万円の損失）となりました。

#### (建材機械事業)

合板プレス装置をはじめとした国内向けの受注が堅調に推移し、売上高297百万円（前年同四半期比278.1%増）、営業利益41百万円（前年同四半期は10百万円の損失）となりました。

#### (その他)

油圧機器の売上が堅調に推移し、売上高47百万円（前年同四半期比25.9%増）、営業利益6百万円（前年同四半期比157.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,874百万円となり、前連結会計年度末に比べて7百万円の減少となりました。これは主に、仕掛品399百万円の増加と、現金及び預金361百万円の減少によるものであります。

#### (負債)

負債合計は4,942百万円となり、前連結会計年度末に比べて54百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等60百万円の減少によるものであります。

#### (純資産)

非支配株主持分を含めた純資産合計は1,932百万円となり、前連結会計年度末に比べて47百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2018年9月台風21号」による被害状況につきましては、6ページ追加情報へ記載の通りであり、損益に与える影響は軽微であると予測されるため、2018年8月17日に公表しました連結業績予想を変更しておりません。

なお、連結業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,362,009	2,000,072
受取手形及び売掛金	1,211,025	1,105,961
商品及び製品	13,602	20,043
仕掛品	656,073	1,055,157
原材料及び貯蔵品	119,410	128,828
その他	36,320	68,671
貸倒引当金	△4,225	△3,053
流動資産合計	4,394,215	4,375,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	597,794	590,328
土地	1,495,753	1,495,753
その他(純額)	209,322	225,482
有形固定資産合計	2,302,869	2,311,564
無形固定資産	22,115	25,327
投資その他の資産		
その他	173,463	172,852
貸倒引当金	△10,878	△10,849
投資その他の資産合計	162,585	162,003
固定資産合計	2,487,570	2,498,894
資産合計	6,881,786	6,874,576
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	848,003	808,389
電子記録債務	421,875	438,734
短期借入金	1,375,000	1,375,000
未払法人税等	94,804	34,301
賞与引当金	26,032	57,205
役員賞与引当金	9,600	11,600
製品保証引当金	36,512	37,978
受注損失引当金	28,800	28,806
その他	755,969	777,420
流動負債合計	3,596,597	3,569,435
固定負債		
長期借入金	929,435	898,601
役員退職慰労引当金	50,027	51,620
退職給付に係る負債	387,301	389,492
その他	33,818	33,037
固定負債合計	1,400,581	1,372,750
負債合計	4,997,179	4,942,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,335,010	1,335,010
資本剰余金	1,340,745	1,340,745
利益剰余金	△1,154,118	△1,110,683
自己株式	△1,094	△1,114
株主資本合計	1,520,542	1,563,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	△606
為替換算調整勘定	7,457	7,246
その他の包括利益累計額合計	8,919	6,640
非支配株主持分	355,145	361,792
純資産合計	1,884,606	1,932,389
負債純資産合計	6,881,786	6,874,576

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	426,959	789,653
売上原価	326,690	525,136
売上総利益	100,269	264,517
販売費及び一般管理費	172,733	180,135
営業利益又は営業損失(△)	△72,464	84,381
営業外収益		
受取利息	236	172
受取配当金	277	291
為替差益	4,134	6,610
受取賃貸料	—	2,100
その他	1,263	992
営業外収益合計	5,911	10,167
営業外費用		
支払利息	10,352	9,231
その他	2,652	1,105
営業外費用合計	13,004	10,337
経常利益又は経常損失(△)	△79,556	84,211
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△79,556	84,211
法人税等	△3,095	26,330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,461	57,881
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,828	14,446
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,632	43,434

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,461	57,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,675	△2,068
繰延ヘッジ損益	△193	—
為替換算調整勘定	14,946	△210
その他の包括利益合計	21,429	△2,278
四半期包括利益	△55,032	55,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,203	41,155
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,828	14,446

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(「2018年9月台風21号」による被害の発生)

「2018年9月台風21号」により、神戸の梱包会社倉庫へ保管中の当社製品に浸水被害が発生しました。現在、部品の復旧作業中であり、その影響を合理的に見積もることが困難なため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

また、当社はかかる被害に備えた保険を付しておりますが、保険金の受取額が確定できないため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	産業機械事業	建材機械事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	310,613	78,774	389,387	37,572	426,959	—	426,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	7,663	7,663	△7,663	—
計	310,613	78,774	389,387	45,235	434,622	△7,663	426,959
セグメント利益又は損失(△)	△62,700	△10,104	△72,804	2,438	△70,366	△2,097	△72,464

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	産業機械事業	建材機械事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	444,527	297,809	742,336	47,317	789,653	—	789,653
セグメント間の内部売上高 又は振替高	456	—	456	11,645	12,101	△12,101	—
計	444,983	297,809	742,793	58,962	801,755	△12,101	789,653
セグメント利益又は損失(△)	41,800	41,136	82,936	6,276	89,212	△4,830	84,381

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。